

ささえあいだより3月号

「第35回 社会福祉大会」が開催されました

2月14日（土）狭山市市民会館小ホールにおきまして「第35回 社会福祉大会」が開催されました。この大会は狭山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰するとともに、市内の社会福祉関係者等が一堂に集い、相互の連携を深め、福祉の更なる普及と充実をはかるものです。今回は第35回記念大会ということで500名以上と多くの方々にご参加いただきました。

第1部では式典で「ささえあい狭山」からも移送サービスや個人宅へのお掃除、草取りや買い物などに長年ご協力いただいております7名の方が表彰されました。第2部は地域の実践活動者からの講演ということで市内在住で女性初のタクシードライバーとしてご活躍されました「青野輝子」様よりご講演いただき、第3部では「大好き！さやま ふれあい自慢」ということで、市内3団体の方々に活動自慢と「いかに狭山が大好きか」を様々な形でご披露いただきました。

この「社会福祉大会」は実行委員制度を取り入れており、委員の皆さんの様々なご意見のもと実施いたしました。「ささえあい狭山」からも委員さんを1名選出しており、今回の社会福祉大会感想などを掲載いたします。



第35回狭山市社会福祉大会が2月14日（土）狭山市市民会館小ホールで開催されました。昨年は大雪という不測の事態により中止となった経緯があり、天候が懸念されましたが、当日は35回記念大会を祝福するような絶好の晴天となり、来場者も500人を超え関係者の一人として、ホッと一安心したものでした。



大会第1部式典では100余の個人団体表彰がありましたが、高齢化の進む現在、大勢の方々の協力と理解が大きな支えとなっていることを実感し、改めて感謝の気持ちが湧いて来ました。

第2部青野輝子氏の講演では、「謙虚で驕りなく人を思いやる心」の大切さを、89歳とは思えぬバイタリティーと溢れるパワーから学び得ることが出来ました。

第3部アトラクションでは、「大好き！さやまふれあい自慢」をテーマに3団体の発表があり地域密着型の福祉活動の在り方を再認識いたしました。



大会は成功裡に終わりましたが、今後更に高齢化の進む社会に対応するため、若年層にも参加出来る福祉活動の場の醸成により「福祉の狭山市」と自慢できる狭山市を目指し積極的に参画する事を誓った一日でもありました。（社会福祉大会実行委員 菅原）

祝 ささえあい狭山15周年記事

今回で15周年特集記事は最終になります。前回のおたよりでお伝えしたとおり、今回は当初より関わって下さっております会員さんからの記事を掲載いたします。

「お互いさま」のところで

「ささえあい狭山」の会員となったきっかけが何だったのか、確かな記憶はありませんが、これからは間違いなく高齢社会になるのだから、若い人達や行政にばかり頼ってはいられない、自分たちで出来ることはお互いに助け合って解決していこうという考えに賛同して会員になったと記憶しています。「福祉公社 ささえあい狭山」として活動が開始され、程なく会員になった私にとって有償とはいえボランティア活動は初めてのことでした。

運営委員会が中心となって、市民にこの組織をどの様にしたら広く知ってもらえるか、どんな活動をしたら「ささえあい」になるのか、色々考えながら進められて来ました。運営委員の一員となった私も少ない知識の中から組織を発展させるにはどんな事をすれば良いか等、真剣に話し合ったのでした。

会員間の交流を図る場として、年2回のバスツアーや朝市等が現在も楽しみとして続いております。事務局や利用者、提供者が行動することによって経験を積み重ねながら「ささえあい」の形が出来てきたと思います。

今でも利用者の方に満足した提供が出来ているか反省しながらの活動です。私個人としては現在4~5名の方々に月1、2回の家事のお手伝い、移送サービスに関わっており、私も犬の世話等をお願いすることがあり、安心して留守にすることが出来ます。

いつまでこの活動に参加できるか分かりませんが、サービス提供には健康でいなければなりません。少しはお役に立っているのかなという気持ちと、活動に参加する事によって生活に張り生まれ、毎日を元気に過ごせたら幸いと考えているこの頃です。(岡ナツエ)

「ささえあい狭山」活動始めたころの思い出

坊やは今頃どうしているのかな?あれから15年と8カ月が立ってしまった。

初めて「ささえあい」の依頼を受けたのは平成11年4月16日(金)でした。

やんちゃ坊やで元気はつらつな4歳児の送り迎えでした。8時に自宅に、そして16時に保育園にお迎えです。道中が大変、道草ばかり目を離すと何処かに行ってしまう。追っかけるにも、行方を探すにも苦労した。普通に歩けば15分足らずの道のりを30~40分覚悟して、時計見ながら急がせ通園、1年が過ぎた。次の年もその弟と2人を送り迎えした。私もあの頃は若かった。今はとてもできません。

喜寿も過ぎ足腰が弱ってきましたが坊やは立派な若者に成長し青春を謳歌しているでしょう。「ささえあい狭山」は15年が経過しました。その間にはいろいろなお手伝いをしてきた。しかしこの数年は移送の依頼のみ。活動を始めた頃は誰もが未来に向かって熱い思いを一杯抱いて無我夢中でした。年月経過とともに情熱も薄れて行ってしまうのではと寂しい思いです。(市川光男)



各部会からのお知らせ

ささえあいサロンの集い 報告

第2回サロンの集いを去る12月12日（金）に社会福祉会館に於いて開催しました。今回は12月の忙しい時期であったのか残念ながら参加者は1名でした、次回は沢山の方の参加をお待ちしております。

第3回ささえあいサロンの集い次回予告

打ち立て、茹でたてのおそばで楽しいひと時を皆様と一緒に過ごしましょう。沢山の方の参加をお待ちしております。

○ 日 時：3月17日（火）10時～12時



移送提供者会議報告

2月5日（木）16時から17時30分まで 社会福祉会館3階 大会議室において、今年度2回目の移送提供者会議を開催いたしました。出席者の方々は移送提供者19名 事務局より1名により、今回は「ささえあい狭山 移送サービス」内容の見直し、移送部員の連絡網確認について、預託金の取扱いについて、その他（意見交換）と、4つの議題に多くのご意見をいただきました。

これからも「ささえあい」を如何に良くしていくか、移送提供者の多数の出席をお願いします。会議後の懇親会は提供者11名、事務局5名出席で、和気藹々と話しが弾みました。（移送部会 深澤）



春のバスツアー（予告）

次回のバスツアーは5月中旬ごろに秩父方面を予定しております。詳しくは次回のささえあいだよりに掲載いたしますので、おたのしみに！！



27年度会員継続のお願い!

～事務局より～

27年度 ささえあい会員継続について

平成27年度も引き続き会員として継続いただけるかどうかを同封のはがきにてご返信いただきますようお願いいたします。(氏名等をご記入の上、同封のシールをお貼りください)

★継続の返信を頂いた方につきましては、年会費として2,000円をご指定の口座より振替させていただきます。(振替日は、はがき返信日により異なります。)

なお6月末までに返信のない会員さんにつきましては、要綱に基づき退会とさせていただきます。また一度お預かりした年会費の返金は致しかねます。

次回おたより封入は4月16日(木)13時から行います。ご協力おねがいします。

データ 平成26年11月

◆会員数	653人
利用会員数	488人
提供会員数	165人 (新規 7名 退会 4名)
◆活動時間	868.0時間
移送	353.0時間
掃除・整理整頓	286.0時間
上記以外の活動	229.0時間

平成26年12月

◆会員数	651人
利用会員数	486人
提供会員数	165人 (新規 5名 退会 7名)
◆活動時間	951.5時間
移送	383.5時間
掃除・整理整頓	319.5時間
上記以外の活動	248.5時間

社会福祉法人
狭山市社会福祉協議会
〒350-1305
埼玉県狭山市入間川2-4-13
電話 04-2003-3843 (直通)
04-2954-0294 (代表)
FAX 04-2954-4343
開業時間：月曜日～金曜日(祝祭日は休み)
午前9時～午後5時
E-mail sasaeai@sayama-shakyou.or.jp

